

予算特別委員会の報告①、西武線中井駅・下落合駅、地下鉄落合駅に 1日も早いホームドアの設置を



日本共産党 新宿区議会議員 区議会文教子ども家庭委員会副委員長

川村のりあき

区議団ニュース

4月9日 No.363

発行

川村のりあき
事務所 中井一三三
自宅 西落合一三二一八
電話 07065108893
FAX 031395018893
メールアドレス kawamura.noriaki7@gmail.com
ホームページ 「川村のりあき」で検索

新宿区議会第1回定例会には、予算特別委員会が設置され、川村のりあきは委員として23年度予算案を審議しました。その質疑の模様を何回かに分けて報告します。今回は、川村のりあきが、一貫して取り組んでいる西武新宿線「中井駅」「下落合駅」「東京メトロ東西線「落合駅」へのホームドア設置についてです。

「ホームドア」は、人・荷物と列車の接触、ホームからの転落による人身事故を防ぐことができるため、川村のりあきは、ホームドアの設置に一貫して取り組んできました。

**落合駅・中井駅・下落合駅
ホームドア設置を早く**

新宿区は、ホームドアの設置に助成金を出しているため、川村のりあきは、例年の予算要望に加え、議会での質問で、ホームドアの設置が進むよう取り上げてきました。新宿区内49駅中43駅で設置が済み、未設置はあと6駅となりました。残る西武新宿線「中井駅」「下落合駅」、東京メトロ東西線「落合駅」への設置が急がれます。



東西線は「落合駅」以外は設置済み

質疑では、「落合駅」について「令和7年度までに設置する計画になっているが、なるべく早く設置してもらいたい」と働きかけた。旨の答弁がありました。

**西武線は、すでに
バリアフリー料金を上乗せ**

一方、「中井駅」「下落合駅」については、設置計画が明らかにされていません。西武鉄道と開かずの踏切対策でやり取りが頻繁になることから、ホームドアの設置についても強く要望することを求めました。目白駅で起こった視覚障害の方の痛ましい転落事故は忘れられません。ホームドアの設置のため、署名に取り組んでいます。ご協力いただける方、ぜひご連絡ください。

**開かずの踏切対策は
住民と一体に取り組むを**

昨年度、区長は、「西武新宿線の開かずの踏切対策」を予算の目玉としましたが、一年経過しても、先が見通せていません。「西武新宿線の開かずの踏切対策」は、南北自由通路が中井駅に開通したことで、わずかに中井駅部分だけ通行できるようになりましたが、それでも、バリアフリー化を含め長期にわたる取り組みが必要でした。「中井駅にエレベーターエスカレーターをつくる会」など住民の方々が踏切の遮断状況や無理な横断等の危険を調査し、TVで特集をして世論にも訴え、私も一緒に西武本社へ署名を携え交渉したこともあります。



自由通路開通の日「会」の方と

中野区は、西武新宿線の開かずの踏切解消のため、04年1月に「西武新宿線踏切渋滞解消促進期成同盟」を結成し、毎年「決起大会」を開催、国・東京都・西武鉄道への働きかけを強めた結果、ついに、区内の開かずの踏切解消を実現しました。

新宿区でも、今後のまちづくりの問題とあわせ、町会・商店会を含めた住民の皆さんと行政・議会が一体となった取り組みをする必要があります。私、川村のりあきも、引き続き頑張ります。



↑LINEでもお気軽に↑Twitter（動画有）